

## 「二宮町こども計画（案）」に対する意見募集の実施結果 （意見と町の考え方）

募集期間 令和7年1月6日（月）～ 令和7年2月5日（水）

意見数 : 36件

意見提出人数 : 13人

（窓口4件、電子メール2件、電子申請3件、こども用ホームページ4件）

### 意見の概要及び町の考え方

No	意見の概要	町の考え方
1	安全な通学路について 今までも通学路の傾いたブロックや白線などの欠落について注意をしていますが、今までは消極的です。計画に記載したら確実に実施してください。	57ページ「交通安全施設の整備」、58ページ「安全な道路環境の整備」に示すとおり努めます。
No	意見の概要	町の考え方
2	計画案について 過去の「こども計画」が無いにもかかわらず、現在が2期という記載はおかしくないですか。	2ページ「計画の位置付け」にあるとおり、本計画はこども基本法第10条に基づく「市町村こども計画」であるとともに、従前の「市町村子ども・子育て支援事業計画」を内包しております。令和6年度までを計画期間とする「第2期二宮町子ども・子育て支援事業計画」の後を受ける形で、新たに「二宮町こども計画」としています。
No	意見の概要	町の考え方
3	乳児の教育について 育児力向上とありますが、教育が難しくなってしまった子供に頑張っても苦労が絶えません。社会のルールやマナーを教えず自由に成長してしまうと、保護者の声かけが理解できる頃にはイヤイヤ期に入って苦労することがあります。子育てを順調にかつ精神的に安定した子供を育むためにも乳児教育の適切な指導が必要。	ライフステージを通して切れ目のない支援ができるよう、親も子も一人ひとりを大切に、61ページにあるような「親と子の育ちの場の支援」等に取り組みます。
No	意見の概要	町の考え方
4	にのみや学園について 相互交流は形骸的ではなく子ども同士がつながることの出来る時間や取り組み内容が必要だと思えます。一つの学校と言いながらも部活の選択や変更に窮屈さがあり、制限をかけるなら事前に多くの部活体験などをさせてあげる必要があるのではないかと思います。 通学校舎についても自由に選択できることが一つの学園として当然の権利と自由になるかと思えますが、大人の事情で制	43, 44 ページに「学校教育の充実」として具体的な取り組みを挙げておりますが、この多くは二宮町教育委員会基本方針に沿ったものとしています。この基本方針に基づき、具体事業がこどもにとってより良いものとなるよう、検討を続けます。

	限するなら「こどももまん中元年」などのフレーズを使うべきではありません。	
No	意見の概要	町の考え方
5	子どもの貧困について 経済的支援をしても浪費癖のある保護者の場合、子どものためにお金を使われな ないことがあります。ですから、現物支給 や無償提供などの観点を考慮することが 必要です。子ども食堂が少数ながら活動 してくれていますが、町主体の取り組み はしないのでしょうか。菜の花などを利 用すれば可能ではないかと思ひます。検 討ください。	現在、町独自の制度による子育て家庭への現金給付は行っておりませんが、今後においても、子育て支援を目的とする給付については、対象となる子や子育て行為に対してきちんと補助として届く方法を考えたいと思ひます。 なお、こども食堂やフードバンクなどの取り組みについては、町民活動、地域活動としての実施を、町社会福祉協議会や国、県とも連携し支援していく考えです。
No	意見の概要	町の考え方
6	妊産婦の移動支援について 当年度から妊産婦のタクシー補助を試行 するとの事でしたが、ホームページで調 べても見当たりません。この計画案に記 載されていますか？複数のタクシー補助 事業について何度も言っていますが、 500円の補助じゃ足りません。増額して 積極的に行うべきです。	ご意見にあります支援制度は、町では行っておりません。 町内を走る民間タクシー事業者において、マタニティサポート事業が行われておりますが、こちらはいざという陣痛時のための有償制度で、妊産婦の日常の移動支援ではありません。
No	意見の概要	町の考え方
7	ファミリーサポートセンターについて 事前予約なので急な場面ではあまり役に 立っていないと聞きます。単独の運営で はなく複合化して効率性をあげないと、 本当の意味で町民に役立つ、嬉しい施設 になりません。一考ください。	ファミリー・サポート・センターは、子育てに関する需要と供給の仲介事業を行なうものです。子育てサービスを供給していただける「まかせて会員」の確保など、利用者により使いやすい制度となるよう検討を続けます。
No	意見の概要	町の考え方
8	学力向上について 塾通いのこどもとの学力差が大きいと聞 きますが、この点について町は何か取 組みをしているのでしょうか。学校内では 教育指導要領に準じての教育ですから他 の方法で学力の穴埋めが出来る施設や教 育方法が必要です。	44 ページ「学校教育の充実」の具体的事業に示すように、「支援が必要な児童生徒への対応の充実」として取り組みます。
No	意見の概要	町の考え方
9	学ぶ意義について 教育を受ける義務があることも一部には 記載すべきではないかと思ひます。	子の保護者は、子に対し教育を受けさせる義務があり、（子を含む）すべての国民には教育を受ける権利があるとされています。 学ぶ権利をふくめ、こどもの権利についての理解促進に努めます。
No	意見の概要	町の考え方
10	子ども・子育て会議について 大人だけではなく子どもを含めた委員構 成がふさわしいと思ひます。	子ども・子育て会議において、こどもの現状などをより把握し、その意見を取り入れられるよう、今年度より若者の活動団体と子育て

		<p>関係活動団体の代表を委員として迎えました。</p> <p>今後、子ども・子育て会議とは別に、「こどもの意見」を聴くより良い手法を、引き続き検討していきます。</p>
No	意見の概要	町の考え方
11	<p>「こども計画案」は、すごくいい計画案ですね。私もこの「こども計画案」で二宮町の環境を良くすることを信じています。がんばってください。</p>	<p>ご意見ありがとうございます。</p> <p>「こども計画」の着実な実行と、町の子育て子育ての環境を良くする取り組みを進めて行きます。</p>
No	意見の概要	町の考え方
12	<p>給食や医療で負担を減らせるようにしたり、サポートしてくれるのは個人的にも嬉しいです。また、不登校の人の居場所づくりも町が全面的に行えば、不登校の人が困っているなら希望になると思うし、不登校の人への偏見などが少なくなると思います。自分が取り組んでほしいのは、子供の支援などではないですが、環境教育をもっと行うことです。二宮町は気候非常事態宣言を発出して環境問題の解決に全面的に努めると決めました。なので、教育の場を使って子どもや教師にも地球環境の緊急性を伝えて、個人的にできることをしてもらったり、どのような対策が効果的なのかを知ってもらえればよいのではないのでしょうか。それに、興味のある人を呼び寄せて長期的に環境問題解決に関わってくれる人を集められるという効果もあると思います。学校では給食やマイエコ10宣言を通して地産地消の必要性や、地球温暖化の緊急性を訴えています。ただ、少ない時間でササッとしか伝えられていないように思えます。なので、生徒たちにしっかり伝わり、どのような対策が効果的なのかを盛り込んだ環境教育をしっかり行い、子供の未来をより良いものにするということも計画案に入れてほしいです。</p>	<p>ご意見ありがとうございます。</p> <p>小中学生が環境に興味・関心を持ち、さらにそれをいかに実生活に広げていけるかまで考えていただいていることは、町としてもありがたく、心強く思います。</p> <p>44ページ「学校教育の充実」の具体的事業に示すように、「体験しながら環境について学ぶ機会の創出」として取り組みます。</p> <p>令和7年度においては、「こども版気候市民会議」を開催するなど、町としても小中学生をはじめとする皆さんに、環境問題について考える機会を設定していきます。</p>
No	意見の概要	町の考え方
13	<p>温水プールを復活させてください！それに伴い、水泳教室も再開してほしいです。良心的なお値段で、4泳法が覚えられるなんて、親としてはとてもありがたいです。また、温水プールがあることで、夏季に集中させていた体育の水泳教室も臨機応変に季節をバラけさせて行えると思います。町立体育館を広くきれい</p>	<p>町民温水プールは、天井材崩落事故を受け、プールの正常運転や入館者の安全確保に相当な工事期間と莫大な費用負担がかかるとして、残念ながら存続を断念し廃止とした経緯があるため、再開することはありません。</p> <p>二宮町公共施設再配置・町有地有効活用実施計画(令和5年3月改定追補版)においては、町立体育館も含め、体育施設を長期間利用で</p>

	<p>にしてほしいのと駐車場を増やしてほしいです。公園にスケボーパークがあってもよいと思います。武道場も併設して、シンボルとなる体育施設を望みます。</p>	<p>きるように大規模改修も予定されていることから、町民の方にとって利用しやすい施設となるよう検討を進めていきたいと考えています。</p> <p>なお、地域住民の利便性向上のため、平塚市、秦野市、伊勢原市、大磯町、中井町及び小田原市と公共施設を相互利用しており、施設のある市町の住民と同じ料金で利用することができますので、そちらについてもご利用ください。</p>
No	意見の概要	町の考え方
14	<p>私はにのみや子ども自然塾でスタッフをやっていますが、町の職員の方が、視察であれ、あそびに来るであれ、いらっしゃることが今までほとんどなかったと思います。自然塾でなくてもいいのですが、町内には子どもを取り巻く町民団体がたくさんあるのですから、子育てに関わる町の職員の方や学校の先生、教育委員会の方など、ぜひ、そういう活動をしている場に足を運んでもらいたいと思います。</p> <p>意見を吸い上げるというよりも、雰囲気を感じてもらうことがとても大事だと思いますし、行政と町民団体がつながることで、いろいろと協力できる場面が増えると思います。</p> <p>もう、行政が一手に抱えて全ての問題を解決する時代ではなく、ネットワーク型で町民を巻き込んで、課題解決をしていく時代になっていると思います。</p>	<p>町民活動として、日々、町の子どもたちのためにご尽力いただきまして、ありがとうございます。</p> <p>町内でさまざまな子どもをまんなかとした活動が盛り上がってきていることは、町としてもうれしくありがたく思っています。</p> <p>担当職員が町民活動の場にも可能な限り伺うことも必要であると思いますので、地域課題の解決のために協力体制を築きたいと考えます。</p> <p>学校の教員も、児童理解を深めるため関係団体との連携も大事にしており、情報交換会や団体等への訪問を行っているところです。今後も、児童生徒や保護者の思いに寄り添いながら、連携を深めていきます。</p> <p>なお、新年度においては、子育て活動団体と子育て主管課による交流・懇談の場を設けることを考えています。</p>
No	意見の概要	町の考え方
15	<p>主権者教育について、具体的施策として「選挙管理委員会」による出前授業が挙げられています。20才代の投票率の低さは大きな問題です。「子どもの意見表明」に対する取り組みも、主権者教育の一部とも位置付けられると思います。拡がりを持たせるため、「町議会と協力して、町の政治の仕組みを実際に体験してもらう」ことを加えてはいかがでしょうか。また、主権者意識の後退は、親世代の意識と強く関連していると思いますので、「保護者も一緒になった取り組み」を加えたいところですが、いかがでしょうか。</p>	<p>52 ページ具体的事業「子どもの意見表明の保障」の所管課を「全課」とし、子ども自身に主権者教育も踏まえた意見を言う権利をいろいろな場面を介して知ってもらうとともに、「子ども議会」という一例も含め、実際に町政へ意見を取り入れる手法を検討します。</p> <p>各課においても主管する事業等において積極的に子どもが意見を言える場、学べる場の提供に努めます。</p> <p>主権者意識の向上については、子どもを介することで親世代への波及効果を期待します。</p>
No	意見の概要	町の考え方
16	<p>60 ページの「学校給食無償化」について</p>	<p>現在段階的な無償化として、中学校給食費の</p>

	「引き続き、国や県に財政措置を要望していきます」は、町として具体化することを放棄することになるのではないかとすれば、町長の公約に反することになってしまいます。	全額無償化と小学校給食費の物価高騰分補助は、継続する意向です。 限られた財源の中で、これを超える補助をするための財源確保策として、国・県への要望は必須であると考えています。
No	意見の概要	町の考え方
17	外国籍の子どもに対する支援については、あまり読み取れないのですが、どのように位置づけられるのでしょうか。	外国籍のこどもに限定した書き方をしておりますが、44ページ「学校教育の充実」の具体的事業にある「支援が必要な児童生徒への対応の充実」、56ページ「困難をかかえたこどもや家庭への支援の充実」の具体的事業にある「学校における特別支援教育の充実」それぞれの内容に示すとおり、日本語指導員等による支援を行います。
No	意見の概要	町の考え方
18	奨学金の支給は、すでに行われていました？新しい施策であれば、対象・規模はどのように考えておられますか。「人物・学業ともに優良」がどのように認定されるのか。	「二宮育成会奨学金」として従前から実施している事業です。支給要件等はホームページで公開しておりますので、下記をご参照ください。 <a href="https://www.town.ninomiya.kanagawa.jp/000000947.html">https://www.town.ninomiya.kanagawa.jp/000000947.html</a>
No	意見の概要	町の考え方
19	「学校教育の充実」をこども計画に入れることは妥当でしょうか。首長が極端な考えを持たれた場合、その意向で学校教育の方針が変わってしまうことに対する心配は拭えません。また、「小中一貫教育の推進」については、子どもの発達や学力について科学的根拠に疑問が投げられており、これを外すことを提案します。	こどもの育ちをライフステージに応じて支援し続ける中には、学童期・思春期における学校教育の充実が必要であり、こども計画への明記も必須であると考えます。 その具体的な取り組みについては、多くを二宮町教育委員会基本方針に定めたものとしています。この基本方針に基づき、具体事業がこどもにとってより良いものとなるよう、検討を続けます。
No	意見の概要	町の考え方
20	学校教育の充実で、学校における働き方改革や処遇改善、指導・運営体制の充実がうたわれていますが、それらに見合った具体的な事業が示されていないと感じますが、いかがでしょうか。	こども計画内の「学校教育の充実」についての内容は、直接こどもに向けた事業のみを二宮町教育委員会基本方針から抜粋しています。二次的にこどもへの影響がある学校現場の環境や体制については、基本方針に定めています。
No	意見の概要	町の考え方
21	「安全なまちづくり」の道路環境の整備には、ゾーン30の拡大も検討してください。	57ページ「交通安全施設の整備」、「交通安全、防災・防犯指導の充実」、58ページ「安全な道路環境の整備」に示すとおり努めます。
No	意見の概要	町の考え方
22	ラディアンの子どもの本コーナーなど、子どもたちが使う施設の運営に子どもたちが（ボランティア？）参画することを	今年度初めて、夏休みに「図書館おしごと体験」というイベントを実施し、小学生が図書館での業務体験を行いました。次年度以降も

	検討してください。	継続実施の予定で、こうした機会に子どもたちの声を聴き、図書館運営に活かしていきます。
No	意見の概要	町の考え方
23	学童保育、放課後子ども教室の見込みと確保の状況は、参加者が多く学年で分けて実施している学校もあるなど、学校区による違いが大きいと受け止めており、学校区ごとに示す必要があると考えます。また、放課後子ども教室は、実施学校数ではなく、参加人数・回数を明示し、確保の見通しを示さなくては説得力がありません。	子ども・子育て支援事業計画で定める区域設定は、需給調整の判断基準となるものとされており、供給が不足している地域を明らかにすることで適切な整備を促すものです。本町における学童保育事業は、民設を含み各小学校区の学童保育所でニーズに対応できているため、町域における総数としています。放課後子ども教室につきましては、地域学校協働活動推進員を中心に、地域のサポーターが運営しており、サポーターの得意なことを活かした内容を取り入れるなど、各校において活動内容は様々であるため、今後の具体的実施見通しを数値化することは控えました。
No	意見の概要	町の考え方
24	幼稚園、保育所、認定こども園の利用見込みと確保について、確保量が3種の合計になっているので、それぞれの施設の充足状況がわかりにくいです。それぞれについての確保量について示すことはできないでしょうか。	ご指摘のとおり、幼稚園、保育所、認定こども園、それぞれの確保量を記載しました。
No	意見の概要	町の考え方
25	妊婦健康診査・産婦健康診査・歯科健診の充実について 二宮町には産婦人科・婦人科がないため、せめてタクシーチケットの配布を検討してほしい。	町内には産婦人科はないものの、公共交通機関の利用により通える範囲に数件の医院があると把握しており、現状では交通費の補助を考えておりません。なお、陣痛時には民間タクシー事業者の行うマタニティサポート事業がご利用いただけます（有償・事前登録制）。
No	意見の概要	町の考え方
26	ブックスタートについて 子育てについての本を図書館だけでなく、子育てサロンにも配置して、子育てのヒントがほしい。	子育てサロンは親子や子ども同士、保護者同士の交流の場、常駐の育児相談員への相談もできる場です。子育てのヒントを子育てサロンで得られるような取り組みを進めていきます。
No	意見の概要	町の考え方
27	子育てサロンの充実、集いや催し等における託児の実施について 保育士がいない、室内の気軽な遊び場がほしい。サロンの保育士さんたちがいると気がつかってしまい楽しめない。常勤3人は多いと思う。	町が用意する子育てサロン施設については、安全管理上、保育士を配置しています。町でコミュニティ保育事業として補助を行っている子育てサークルなどの活動をご利用ください。 <a href="https://www.town.ninomiya.kanagawa.jp/ninomiya_life/0000000914.html">https://www.town.ninomiya.kanagawa.jp/ninomiya_life/0000000914.html</a>

		1歳6か月までのお子さんであれば、保健センター内のでんでんむし事業もあります。 <a href="https://www.town.ninomiya.kanagawa.jp/000002151.html">https://www.town.ninomiya.kanagawa.jp/000002151.html</a>
No	意見の概要	町の考え方
28	夏の暑い日でも遊べる屋外の充実 ・子育てサロンでの水遊びの許可 ・せせらぎ公園の活用を見直し、じゃぶじゃぶ池や噴水といった水遊びができる場所を作る。温水プールがなくなり、水遊び場が少ない。袖が浦プールの整備検討を希望	熱中症警戒アラート発令時の外遊びは、水辺での活動を含めお控えください。 栄通り子育てサロンにおいては、アラート発令時以外に大きく濡れない程度での水遊びができるよう検討します。 新たな施設整備につきましては、No.13の回答と同様です。
No	意見の概要	町の考え方
29	P43 学校給食での無添加無農薬野菜の推進について、食育計画とも連携して下さり、ありがとうございます！「無農薬」の記載も趣旨的には賛同で、とてもありがたいのですが、「無農薬」というのは農業の世界では存在せず、「栽培期間中農薬不使用」という表記になるそうです。（隣の畑が農薬使用していたりすることもあるため）	「無農薬野菜」を「環境に配慮した食材」に修正しました。
No	意見の概要	町の考え方
30	P44 体験しながら環境について学ぶ機会の創出 気候市民会議と連動して、体験するだけでなく、「取り組むことのできる人」を育てる旨、とても重要なことだと思います！ 市民の提案を取り入れて、計画に反映して頂けることがとてもうれしく、ありがとうございます！！	こどもたちが環境に興味・関心を持ち、自分なりに考え行動できるように、令和7年度においては、「こども版気候市民会議」を開催するなど、町としても小中学生をはじめとする皆さんに、環境問題について考える機会を設定していきます。
No	意見の概要	町の考え方
31	私の子育てをされていて思うのは、就労（経済活動）によって子どもに良い経験を買ってあげたいのではなく、自分たちの暮らし、子どもたちと家族や地域で過ごす、日常の時間、そのものを幸せなものにしたいと願っています。 昨今の保育園と就労の、にわとりとたまごのような関係（保育園に入れるために働かなければならない、働き出したら保育が必要）に、子育ての苦労や矛盾を感じているのは、私一人ではないと思います。 大人が子どもとほどうどほどう一緒にいながら、（最低賃金までではなくてもよいの	ご例示いただきましたように、町内でさまざまな子どもをまんなかとした活動が盛り上がってきていることを町としても把握しており、うれしくまたありがたく思っています。これらの活動につきましては、「二宮町町民参加活動推進条例」に基づき引き続き支援をまいります。 本計画へは、53ページ「こども・若者の居場所づくり」の具体的事業として「関係団体の連携強化」として示しています。 新年度においては、子育て活動団体と子育て主管課による交流・懇談の場を設けることを考えています。

	<p>で) 小さな経済活動によって、ゆるやかに地域や社会に貢献することができたら、それは孤独の解消や、母親の自己肯定感につながるだけでなく、母が1:1で子どもをみる構図から、地域で子どもを育てる町に変わっていくことにもつながると思います。</p> <p>これをこども計画に具体的に落とし込むと、具体的には、P41「地域人材の活用」などに含まれるのか? 高齢者や育児経験豊かな方の活用だけでなく、はらっぱベース、子ども自然塾、子ども食堂、だあれなど、地域の中で大人たちが相互に助け合う活動が、活発に持続可能になるようなサポートを町のこども計画の中にもきちんと位置付けていただきたいです。</p> <p>また、発達サポート育成講座や、ママたちの保健室のような、地域の大人が子どもを見守る視点について共有したり、学習したりすることも、町としてきちんと後押しできるように、位置付けられたら、サービス頼りではなく、内発的に子どもを育てる土壌豊かな、ますますすてきな町になると思います。</p>	
No	意見の概要	町の考え方
32	<p>P44の「自ら学ぶ力を養うための教育の推進」について</p> <p>「ICT環境を活用した学び」とありますが、IT推進国のスウェーデンでは、学習用端末を使用することを進めた結果、子どもたちの集中力の低下、長文の読み書きの困難さが生じ、脱デジタル化に舵を切ったとされています。そのような結果が現れている今、ICT環境を進めていく意味を感じません。あえて、アナログの教科書を使用したり、実体験に基づく学びの充実を求めます。</p>	<p>ご指摘いただきました「自ら学ぶ力を養うための教育の推進」を含め、43, 44ページに示す「学校教育の充実」の具体的事業については、こどもの育ちを支援する意味で本計画へ掲載していますが、その多くを二宮町教育委員会基本方針から引用しております。この基本方針に基づき、具体事業がこどもにとってより良いものとなるよう、検討を続けます。</p>
No	意見の概要	町の考え方
33	<p>子どもたちの教育の中にICTが浸透していく中、その利点や危険性を私たち大人が本当に理解して、それを進めて良しとしているのか疑問に思うことがあります。本当にそれが子どもたちの最善の利益なのか、多角的に学んで判断する必要があると思います。子どもたちに与える前に大人たち一人ひとりが学び判断する機会があったらより良いなと感じました</p>	<p>上記No. 32の回答と同様です。</p>

No	意見の概要	町の考え方
34	<p>今、5才の息子の子育て真只中なのですが、せっかくたくさんサービスを町が用意して下さっているのに、なかなか利用まで辿り着きません。（子育て支援センター、ファミサポ、一時預かりなど）やはり、誰かに子どもを託すのであれば、そこに信頼関係が必要だと思えます。多様なサービスの存在も大切だと思いますが、町民同士が出会い、信頼し支え合い、つながっているということがサービスの利用につながるのでは・・・と感じています。</p>	<p>おっしゃるように、相手の見えない中でいきなりお子さんを預けるのは不安なお気持ちもあると思われます。</p> <p>まずは保護者の方も一緒に、こども家庭センターや子育てサロンなどの施設をご利用いただき、お子さんの様子も見ながら徐々にいろいろな制度をご活用ください。</p> <p>ファミリー・サポート・センターや一時預かりの事業も、いきなり預けるだけではなく、事前の面談などを踏まえて安心してご利用いただけます。</p> <p>保護者同士の出会いやつながりをお求めの場合は、町でコミュニティ保育事業として補助を行っている子育てサークルなどの活動をご利用ください。</p> <p><a href="https://www.town.ninomiya.kanagawa.jp/ninomiya_life/0000000914.html">https://www.town.ninomiya.kanagawa.jp/ninomiya_life/0000000914.html</a></p>
No	意見の概要	町の考え方
35	<p>妊婦への経済的支援（健診費・入院費等の助成）は、私が出産した数年前に比べて少しずつ充実してきていると感じます。ありがとうございます。ただ、産後ケア事業なども、まだまだ本人の負担額が多く、なかなか何度も利用できるものではないなと思います。経済的な理由で子どもを産み育てることをあきらめないといけない人が多いのは残念です。健診費用も検査等がある月は負担額が大きく苦しいので、もう少し健診費用、産後ケア事業の補助額が増えるとうれしいです。</p>	<p>妊婦健康診査、産婦健康診査とも、現行の補助制度により可能な限り自己負担を抑えて受診ができるようにしています。産後ケアにおいても、国の補助金等を活用し、自己負担の軽減に努めています。</p> <p>また、出産後に子育て応援交付金（5万円）を交付していますので、ご活用ください。</p> <p>妊婦健診の費用については、県全体で見直しを進めているところです。</p>
No	意見の概要	町の考え方
36	<p>1. 背景： 日本は急速な高齢化社会に直面しており、その影響で若い世代が将来的に背負う社会的・経済的な負担が増加することが懸念されている。</p> <p>加えて、日本経済は長期にわたる低迷が続いており、社会全体の活力が弱まりつつある。</p> <p>日本経済が衰退していくと子供達の将来の希望にも大きく影響が出てくると考える。かといって現在の日本の実力では子供達が将来大人になったときに活躍できる社会環境を整えられる保証はない。</p> <p>今、我々大人たちができることは、子供達に将来の活躍を期待することに加え、</p>	<p>43, 44 ページに示す「学校教育の充実」の具体的事業については、こどもの育ちを支援する意味で本計画へ掲載していますが、その多くを二宮町教育委員会基本方針から引用しております。この基本方針に基づき、具体事業がこどもにとってより良いものとなるよう、検討を続けます。</p> <p>社会貢献としての教育現場への企業の参画をご提案いただいておりますが、こちらは44ページに示す具体的事業「コミュニティ・スクール運営の促進」の中で、学校と地域が一体となって検討をし続けます。</p>

その実現を手助けしてあることであり。つまり子供達が将来の社会で活躍・成長できる様に知識という可能性の種をまくことが重要であると考える。

## 2. 目的：

子供達が将来の社会で活躍・成長できる様に知識という可能性の種をまく。

具体的には知識を最大限に引き出す為の考え方を子供の時代に学び社会で活躍できるように促す。

例えば学校の勉強だけでは下記の(1)や(2)になる可能性がある。町の施策を行う事で心の豊かさは磨けるが(1)や(2)になる可能性は現状とあまり変わらない。町で計画している健全な人格形成の築きに加えて本目的の施策を行うことで(3)を目指す。

(1)勉強だけできる頭でっかちな人

(2)心が豊かだけど仕事ができない人

(3)心が豊かであり社外でも活躍できる人

例えば小学校の生活の授業でけん玉、紙トンボ、メンコ、あやとり等の日本の文化を経験する授業がある。そこでは作り方や遊び方を学ぶことで、学校は楽しい場であることをすり込んだり、ツールを経由して友達と仲良くなったりすることができる。前述のメリットはあるが、以下の様な<考え方>を学ぶことにより何故、けん玉を学ぶのか？という考え方を理解するようになる。特に以下の◎の様な考え方ができる様になると将来、柔軟な考え方ができる様になる。

<考え方>

○：日本の伝統を守る。

◎：日本人共通のメソッドを知ることによって幅広い年齢層でのコミュニケーションができる。

## 3. もう1つの狙い：

子供達の将来の為+日本の未来の為の施策として、二宮町が全国発の取り組みと発信していきたい。二宮町を活性化したい。

## 4. 施策：

企業から支援をもらい小学校の授業（生活を想定）に参画。企業としては社会貢献のアピールになり、子供達の未来の投資にもなるのでWin-Winの構図が作れ

<p>る。  (具体的な内容は後報)</p> <p>5. 懸念の確認：  知識の強要は押し付けになる可能性があるが、考え方の学びは押し付けにならない。なぜなら考え方が身についたか否かは、何かをテストしてわかるものではない。身につけた考え方を有効活用するのは自分自身であり自由である為、本施策は子供達への負担にならないし押し付けにもならない。</p> <p>6. 最後に：  私は小学生の娘を持つ父親です。娘が毎日楽しく学校に通ってくれることは親として本当に嬉しい限りです。しかし、日本経済の低迷や高齢化社会の影響で、将来子供たちに多くの負担を背負わせることを考えると、どうしても不安な気持ちになります。今、私たちにできることとして、子供たちの学びの中に将来の活躍の種(考え方)を植え付けていくことが大切だと感じています。  一個人としても何とか協力したく本施策に興味あればメールにご返信ください。</p>	
--	--

上記募集期間の下記イベント内で、こども計画の概要を説明したうえで、お子さんを中心に意見を書きいただきました。

<p>【イベント名】二宮で育つこどもの未来 【開催日】令和7年1月25日(土)  【主催】にのみや子どもの権利フォーラム(二宮町共催)</p>
<p>【学校のこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○学校の休み時間をもう少し長くしてほしい。</li> <li>○通知表がない(なくしてほしい)。欲しい人だけとか。</li> <li>○先生が子どもと遊んでくれる。○時間割を自分で決められる。</li> <li>○先生がもっと一人一人の話を聞いたり、考えてほしい。</li> <li>○学校が安心して過ごせる場所になるために何ができるか考え続ける。</li> <li>○学校に行ったら二宮の近くや二宮の子どもがいる学校一つがいい。</li> <li>○学校で髪の毛やアクセサリ、服装、自由がいい。○学校にデザートを出してほしい。</li> <li>○学校でおやつ時間がほしい。</li> <li>○学校、今日は大切なイベントがあるから来てほしいとか、今日は来なくてもいい、というのを書いておいてほしい。</li> <li>○学校の先生の質を上げてほしい。○学校の中休み、昼休みが30分以上ほしい。</li> <li>○制服を着ない選択もできるようにしてほしい。(大人より)</li> <li>○休み時間5分は短い。(大人より)</li> </ul> <p>【地域やイベントのこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○お祭りやイベントを増やす。○二宮小で大盆踊り大会を開催してほしい。</li> <li>○大きなお祭りのようなイベントがほしい。</li> </ul>

○今日のようなイベントをもっと開催した方がいいと思う。

【まちづくりや居場所のこと】

○銭湯のような場所がほしい。（中には卓球やカラオケなど）

○吾妻山にロープウェイがほしい。

○子どもホテル（今日はお泊りしたいというときに泊まれる、森の中の小屋みたいな）

○やさしいお医者さんがいる病院がほしい。

○こどもが楽しめる射的やりんご飴や冷やしキュウリなど売っている（安く売っている）屋台が毎日ほしい。

○二宮町にゲームセンターがほしい。○二宮町に遊園地がほしい。

○二宮町に回転ずしがほしい。

○公園のまわりの人がうるさいのやボールが庭に入っても怒られない公園がほしい。

○みんなでお話しゃふれあえる場所がほしい。

○南海トラフが近づいているから防潮堤を作ってほしい。

○プレーパークのような遊具いっぱい大きな公園がほしい。

○デパート（ららぽーとのようなもの）が二宮にほしい。

○ひみつきち（どこでもいいけど）。中にはみんなが好きなものなどが置いてある。

【その他】

○アイスが食べたい。○こどもも大人もすーんごく幸せがいい。

○地球温暖化のことを考えてくれる大人がたくさんいてほしい。私たちの未来のために！！

○未来が変えられたら今よりの最高な、いい自然が生まれると思う。

※整理のため、大きくジャンル分けして表記しましたが、実際には自由記載としています。

町の考え方

意見をくれたこどものみなさんが普段から思っていること、考えていることをたくさん教えてくれてありがとうございました。今回いただいたご意見は、もちろん町長も見ていますし、関係するところへ届けました。

町では、こどもたちがいつまでも明るく、楽しく暮らしていけるように、おうちの人や地域の人たちと町役場が一緒になって取り組んでいきたいと思っています。

また、今回のようなこどもたちから色々な意見や考えを聴く場を作っていきますので、その時はぜひ、参加してください。